

総額 **288 億 3,165 万 9 千円**



28 億 8,911 万円 (10.0%)

町民の皆さんが納める税金や法人町民税など

【内訳】 町民税	11 億 8,139 万 3 千円
固定資産税	14 億 3,917 万 1 千円
軽自動車税	9,333 万 8 千円
町たばこ税	1 億 7,134 万 9 千円
入湯税	385 万 9 千円

自主財源 (15.3%)

町税

依存財源 (84.7%)

地方交付税

51 億 2,647 万 6 千円 (17.8%)

国の所得税や酒税の内、一定の割合で地方へ交付されるもの

国庫支出金

74 億 7,318 万 3 千円 (25.9%)

事業を行うために国から交付されるお金

県支出金

36 億 737 万 3 千円 (12.5%)

事業を行うために県から交付されるお金

町債

74 億 4,230 万円 (25.8%)

事業を行うために借り入れたお金

その他

7 億 6,766 万 8 千円 (2.7%)

地方譲与税や地方消費税交付金などの各種交付金

分担金及び負担金 1 億 6,426 万 3 千円 (0.6%)

保育所の保育料などの負担金収入

使用料及び手数料 1 億 791 万 3 千円 (0.4%)

公共施設の使用料や住民票などの交付手数料

財産収入 4,047 万円 (0.1%)

各種基金利子、財産を売り払ったお金

寄附金 4 億 8,277 万 9 千円 (1.7%)

ふるさと納税など寄附されたお金

繰越金 3 億 1,335 万円 (1.1%)

前年度決算から翌年度へ繰り越された余剰金

諸収入 4 億 1,677 万 4 千円 (1.4%)

預金利子や町が融資した貸付金の返済金など

報告します

平成28年度

決算

9月の町議会定例会で、平成28年度の益城町一般会計および特別会計の決算が承認されました。皆さんから納めていただいた大切な税金や、国・県から交付を受けたお金などがどのように使われたか、熊本地震の発生により町の財政状況がどのように変化したかをお知らせします。

一般会計決算の状況

平成28年度の決算は、熊本地震の影響を大きく受けたものとなりました。

歳入総額の288億3165万9千円に対し、歳出総額は273億8531万9千円で、歳入歳出差引額は14億4634万円となっています。歳入歳出額を前年度と比較すると、歳入で176億2506万1千円(157.3%)、歳出で164億9207万1千円(151.4%)、それぞれ大きく増加しています。

歳入歳出差引額から繰越事業分(6億9596万3千円)を除いた実質収支額は7億5037万7千円で、これから平成27年度の実質収支額を差し引いた単年度収支額は4億4597万1千円の黒字となりました。

歳入の概要

歳入総額を、町税や使用料など自主的に収入することができる自主財源と、地方交付税など国・県等の意思決定に基づいて収入される依存財源に分類して見ると、自主財源は総額44億1465万9千円、率にして15.3%となっており、前年度と比較すると1億1013万7千円、率で25.1ポイントと大きく減少しています。熊本地震により寄附金が激増した反面、個人町民税および固定資産税の減免措置の影響が大きく出ています。

それに対して依存財源は総額244億1700万円、率にして84.7%を占めています。前年度と比較すると177億3519万8千円増加しています。